



100歳のお誕生日おめでとうございます ～坂口クサノさん～

4月22日(月) エレガントなぎの浦

万行町に生まれ、結婚後7人の子どもに恵まれたクサノさん。農業で生計を立て、畑や田んぼをして家庭を守ってきた。野菜作りの先生と呼ばれるほど野菜を育てることが上手で、タマネギは400個ほど作っていた。

お祝いの会では、七尾鹿島地区で活動するボランティア団体、にこにこ一座が七尾まだらなど7曲を披露し祝福した。踊りが好きなクサノさんは、曲に合わせて手を動かし、会を楽しんだ。これからも元氣にお過ごしください。



能登和倉国際女子オープンテニス2019記念講演 ～夢を叶えるために大切なこと～

4月19日(金) 田鶴浜小学校

プロテニスプレーヤーの佐藤直子さんが「夢を追って」と題して、5、6年生に講演した。佐藤さんは、負けず嫌いな性格から人よりも少し多く練習することを続け、高校生の時に全日本選手権で優勝した。

「少しの積み重ねが力の差となる。ぜひ夢を叶えるために続けてほしい」と熱く語った佐藤さん。児童は真剣な眼差しで耳を傾け、最後に児童を代表して大橋玲央さんが「これから自分たちの夢を追い掛けていきたいです」と力強く宣言した。



石川ミリオンスターズの選手がやってきた ～野球って楽しいね～

4月12日(金) 石崎保育園

石川ミリオンスターズの選手が石崎保育園を訪れ、園児27人とティーバッティングなどで触れ合った。子どもたちに野球の楽しさや夢を叶える大切さを感じてほしいとチームが行っている取り組みで、七尾での開催は初めてとなる。

園児たちは石川文哉選手にバットの振り方を教わり、棒の先に乗せたボールを打つティーバッティングに挑戦。ボールがバットに当たると「楽しい」と笑顔がこぼれた。石川選手は「好きなことを一生懸命頑張ってるね」と園児たちにエールを送った。



和倉わんわんパトロール隊壮行式 ～地域の安全を見守る～

4月4日(木) 和倉町

愛犬の散歩をしながら地域の安全を見守る和倉わんわんパトロール隊が結成して3年目。新入生の入学時期に合わせ、4月4日から1週間声掛けや見守り活動を強化する「春の重点パトロール運動」の壮行式が行われ、6匹の隊員と5人の飼い主が気持ちを新たにした。

七尾警察署和倉交番の橋上博所長の号令とともに出発した隊員。入学したての児童が慣れない道を安心して登下校できるよう、人通りの少ない道などをしっかりと巡回した。



田鶴浜住吉大祭 ～町中に掛け声が響く～

4月28日(日) 田鶴浜町

初夏の訪れを告げる住吉神社の祭礼、住吉大祭。神事後、田鶴浜保育園の年長児13人が太鼓を披露し祭礼開始を盛り上げ、浜山と呼ばれる6台(東町、中町、西町、登町、殿町、上野ヶ丘町)の曳山を若衆が曳き回した。

子どもの曳山体験では田鶴浜保育園、あかくら保育園の園児合わせて38人が参加した。力を合わせて元氣よく「よい、よい」の掛け声とともに綱を曳いた園児たち。小浦凜大君は「お祭りが大好き。大人になっても曳きたい」とうれしそうに話した。



でか山を動かしてみよう ～祭りを肌で感じる～

4月24日(水) 御祓地区コミュニティセンター

小丸山小学校の3年生63人がでか山を動かす体験をした。児童たちは「何年前から祭りがあるのか」「木は何本使っているか」などと質問し、魚町でか山保存会の通則夫さんが丁寧に答えた。

その後、でか山の車輪に「はでこ」と呼ばれる木を差し込み、てこの原理で動かすことに挑戦。「エンヤー」という掛け声に合わせてはでこに体重をかけると、ゆっくりと車輪が動き歓声を上げた。山本朝陽君は「でか山を動かす大変さが分かった」と感心していた。



100歳のお誕生日おめでとうございます ～松田清子さん～

4月15日(月) のとじま悠々ホーム

中能登町で生まれ奥原町に嫁いだ清子さん。4人の子どもに生まれ、農業をしながら家庭を守り、98歳までは大きな病気もせず元気に過ごした。

誕生日を前にしたお祝いの会では、入所者から花束や寄せ書きが贈られ、家族と一緒にくす玉を割り笑顔を見せた。長女の夫、忠昭さんは「几帳面な性格でメモ程度の日記を毎日書き、水分やカルシウムを取るなど食事に気を付けていたのが長寿の秘訣ではないか」と話した。これからも心穏やかに過ごしてください。



第9回日用川桜まつりと花見舟による川下り ～桜に囲まれ春を感じる～

4月14日(日) 中島町豊田町

中島町の日用川沿いで、桜の名所づくりや地域活性化を目的に、桜まつりが開催された。天候に恵まれ、子どもからお年寄りまでが参加し、心地よい風にゆらゆらとなびく桜を「きれいだね」と観賞しながら川下りを満喫した。

中島地区コミュニティセンター豊川分館内では、豊川女性会やボランティアで食事を提供するむつみ会から混ぜご飯や桜餅が振る舞われた。参加者はほっとひと息つきながら、和気あいあいとコミュニケーションを取った。